



## 肺がんCT検診認定機構メールマガジン

第25号

2018年10月号

### 目次

NELSONスタディは肺結節の容積を考慮したCT検診が、 男性で26%の肺がん死亡を減少させることを示した。 ……	1
医師「認定医師用読影トレーニング」の解答受付を開始しました。 ……	2
第20回肺がんCT検診認定技師定期講習会、 第16回認定技師更新講習会報告 ……	3
第15回肺がんCT検診認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会 報告 ……	4
西井研治監事、日本対がん協会賞受賞おめでとうございます！ ……	5
肺がんCT検診認定機構 講習会および試験日程のご案内 ……	6
関連会議のご案内 ……	7

## NELSONスタディは肺結節の容積を考慮したCT検診が、 男性で26%の肺がん死亡を減少させることを示した。

トロント、カナダ発、2018年9月25日

最近の研究成果は、肺がんハイリスクの無症候性の男性を主な対象としたCT検診が10年間の経過観察（86%の遵守率）において、26%（95%信頼区間、9-41%）の肺がん死亡率減少をもたらすことを示した。この試験には16%ほど女性が含まれており、この集団では、肺がんによる死亡率減少は8年で39%、10年で61%であった。これは男性よりも肺がん死亡率減少効果が有意に大きいことを示唆している。オランダ、ロッテルダムのエラスムス医療センターのHarry J. De Koning博士は、本日、カナダトロントで開催された世界肺癌学会（IASLC）第19回世界肺がん会議（WCLC）でこれらの知見を発表した。

NELSONスタディは15,792人が登録され、無作為に試験群（study arm）と対照群（control arm）を1対1の比率で割り付けした集団ベースの比較対照研究である。割り付け後、試験群の参加者には開始時、1年後、3年後、5年半後に肺がんCTスクリーニングが実施された。対照群の参加者にはCTスクリーニングは実施されなかった。参加者の記録はがんの診断（Netherlands Cancer Registry）、死亡年月日（Center for Genealogy）および死亡原因（Statistics Netherlands）と

いった全国登録に100%紐付けられた。専門家検討会は症例の65%を見直した。経過観察期間は、死亡しない限り最低10年であり、登録された参加者の93.7%が該当した。

試験群において、延べ29,736回のスキャンが実施され、CTスクリーニングの遵守率は86%であった。試験群の参加者の9.3%は、2ヵ月以内に追加のCTスキャンが施行されて結節の倍加時間を推定し、肺がんが疑われた結節は全体の2.3%であった。CTスクリーニング間の検出率は0.8から1.1%の間で変化し、検出された肺がんの69%がステージ1Aまたは1Bであった。4回目の経過観察の前までに、合計261例の肺がん（その内52例は検診間で発生した中間期がん）が検出された。分析が行われた患者集団において、外科的治療は試験群のほうに、対照群の患者よりも3倍施行されていた（67.7%対24.5%、 $p < 0.001$ ）。

「これらの結果は、肺がんCT検診は、肺がんのリスクが高い患者の肺結節を評価する有効な方法であり、しばしば疑わしい結節の検出につながり、比較的low率であるが偽陽性がほとんどない手術介入をもたらします。そしてこの難治ながんからの治癒の可能性をあげることができるのです。」と、De Koning博士は述べた。さらに「これは世界で2番目に大きな無作為化試験であり、最大の無作為化試験であるNLSTよりも肺がんCT検診がさらに有効である結果を示しました。これらの情報をもとに、世界における今後のCT検診が導かれるべきです。」と続けた。

---

## 医師「認定医師用読影トレーニング」の解答受付を開始しました。

肺がんCT検診認定医師としての能力を維持さらにはスキルアップしていただくため、5年ごとに認定更新をしていただきます。

肺がんCT検診認定医師の更新条件の中に、「②NPO法人肺がんCT検診認定機構が課すCD等による認定医師用読影トレーニング実施結果提出」とありますが、機構HPでの認定医師用読影トレーニングがそれに該当します。

この読影トレーニングは更新のための必須項目（7単位）であり、毎年一定期間だけホームページにアップします。認定医師の方におかれましては、取得後5年の間に1回だけ読影トレーニング結果をウェブにより事務局に送信してください。正解と解説は後日ホームページ上で公開します。

この作業はあくまでも自己研鑽のためのトレーニングであり試験ではありません。読影結果をお送りいただいた方にはトレーニング終了証明証をお届けします。

詳細は、肺がんCT検診認定機構HPよりご確認ください。

### 肺がんCT検診認定機構HP「認定医師用読影トレーニング」

<http://www.ct-kensin-nintei.jp/ishi/training/index.html>

解答期間：2018年10月1日から2018年12月31日まで

## 第20回肺がんCT検診認定技師定期講習会、 第16回認定技師更新講習会報告

特定非営利活動法人 肺がんCT検診認定機構 西日本実行委員長  
牛尾哲敏

NPO法人肺がんCT検診認定機構主催の第20回肺がんCT検診認定技師定期講習会（以下、定期講習会）及び、第16回認定技師更新講習会（以下、更新講習会）が、平成30年7月28日（土）、29日（日）に滋賀医科大学で開催された。定期講習会には全国197施設（重複を除く）から237名の応募があり、選抜された105名が受講した（その内、25名が認定試験のみの受講者：過去の不合格者）。同時開催の更新講習会には59名が受講した。

今年の夏は例年に比べ猛暑の日が続き、近畿では気温が40度近くまで上昇するなど熱中症対策に関心が高まる状況で準備を進めていたところ、24日（水）に突如発生した台風12号は進路の予測が不可能な台風で、進路によっては滋賀を直撃の可能性もあったため、実行委員は講習会開催について非常に悩まされた（2015年の第14回定期講習会は台風直撃の可能性があり、開催2日前に中止を決定：結果的に近畿地方の交通網が壊滅状態となり中止判断が幸いしたこと経験）。刻々と変化する台風の進路を気にしながら、25日（木）午前に講習会の決行を判断した。あとは神頼み、台風の影響が受講生に及ばないことを祈りながら講習会初日を迎えたが、なんと滋賀は終日夏空であり1日目の講習会は無事に終わった。東から西に迷走した台風12号は、28日から29日の夜中に近畿地方を通過したため、朝を迎えた時には天候も回復しており2日目の講習会も無事に終えることができた。

このような実行委員泣かせの天候の下での講習会開催ではあったが、合格者数は88名、合格率は71.5%であった。近年の定期講習会の問題点として、異常所見検出試験の合格率の低下が懸念されていたが、今回の合格率は回復傾向にあり、次回以降も合格率上昇に期待したいところである。また、今回から新たな講習会プログラムとして、4月にスタートした施設認定に関する情報を代表理事である村田先生にお願いし、今後の検診施設における施設認定の必要性を受講生に伝えることが出来た。なお、今回59名が更新したため、現在までの認定技師更新率は74%となった。

次回の第21回定期講習会は、来年2月16日、17日に駒沢大学で開催予定である。



# 第15回肺がんCT検診認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会 報告

特定非営利活動法人肺がんCT検診認定機構 代表理事  
村田喜代史

2018年8月5日(日)に、第15回となる肺がんCT検診認定医師に向けた新規ならびに更新講習会が東京の一橋講堂で開催されました。今回は196名の受講者があり、その内訳は新規受講者が123名、更新受講者が73名でした。新規受講者に関しては、書類審査等を行なった後、認定発表が行なわれる予定になっています。これまで認定医師は着実に増加し、2018年2月時点での認定医師数は1,346名に達しています。

今回の講習会では、下記プログラムにありますように、肺がんCT検診に関して知っておくべき基本的な事項や実際の経験をテーマとした講演、さらに、肺がんCT検診の国際的な現状といった最新の情報もお話いただきました。また、2018年4月より、肺がんCT検診施設認定制度を開始しましたので、その背景や施設認定基準を解説する講演も最初に加えさせていただきました。認定施設では、常勤の認定技師とともに、少なくとも1名の認定医師(常勤あるいは非常勤)が肺がんCT検診を担当していることが必須要件となっていますので、認定医師の資格を取得された方には、ぜひ、近傍の検診施設の施設認定にもご協力いただき、肺がんCT検診の標準化にご尽力いただけたら幸いです。

認定医師のための講習会は、現在、東京と大阪で年に2回のペースで行なっていますが、遠方より受講していただく先生方から、他地域での開催の希望も多く寄せられています。地域による認定医師数の不均衡をなくし、全国レベルで認定医師の増加を図る方策を検討してきましたが、その一環として、2019年度からは、年4回に回数を増やし、福岡と仙台で講習会を追加開催することによって先生方の便宜をはかりたいと考えています。詳細は、追って案内させていただきますが、ご利用いただきたいと考えています。

今後とも肺がんCT検診認定機構の活動へのご支援をよろしく、お願い申し上げます。

## 第15回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会プログラム

- 午前の部 座長：西井 研治
- 10:30～10:45 開会の挨拶・肺がんCT検診 施設認定事業の紹介  
村田喜代史(滋賀医科大学)
- 10:45～11:15 国外での低線量肺がんCT検診の状況  
滝口 裕一(千葉大学)
- 11:15～11:35 低線量肺がんCT検診の実際  
森泉 力(JA長野厚生連 浅間南麓こもろ医療センター)
- 11:35～12:05 低線量肺がんCT検診で発見される肺がんと諸病変  
草野 涼((株)日立製作所 日立健康管理センタ)
- 12:05～12:35 末梢小型肺癌に対する外科療法の現状  
近藤 竜一(国立病院機構 まつもと医療センター)
- 12:35～13:35 休憩
- 午後の部 座長：村田喜代史
- 13:35～14:15 肺がんリスク要因としての放射線

- 島田 義也 (放射線医学総合研究所)
- 14:15 ~ 14:45 低線量肺がんCT検診での読影と経過観察
- 石川 浩志 (新潟大学 医歯学総合病院)
- 14:45 ~ 15:15 低線量肺がんCT検診の精度管理 - 不利益を正しく評価する
- 中山 富雄 (国立がん研究センター)



## 西井研治監事、日本対がん協会賞受賞おめでとうございます！

日本対がん協会は、9月1日付で、2018年度の対がん協会賞を6氏1団体に贈ると発表しました。日本対がん協会賞は、がん制圧活動に大きな功績のあった個人・団体に贈られるもので、9月14日に千葉市で開催された『がん征圧全国大会』で当法人監事の西井研治先生が表彰されました。

西井先生は、早くから禁煙相談、禁煙外来に取り組み、肺がん予防に大きく貢献されたことが高く評されました。

(対がん協会報2018年9月1日号より抜粋)

「岡山大学医学部卒業後、1981年に同大第2内科に入局、肺がんの早期診断の研究グループに入り、フィールド研究、兼ねて85年から岡山県健康づくり財団付属病院前身である結核予防会岡山診療所に勤務し、肺がん検診で早期に見つける研究に取り組んだ。しかし、喫煙者が多い肺がん患者には、慢性閉塞性肺疾患(COPD)や間質性肺炎などの合併が多く、早期で見つけても治療できない人がいることに直面した。早期発見も大事だが、それと同時にタバコを吸わない人を増やすことも大事だと、1990年から禁煙相談を始めた。岡山県健康づくり財団厚生町クリニック所長となった92年からは独自のプログラムを作って禁煙外来と禁煙の電話相談を進めてきた。02年に同財団付属院長となり、現在に至るまで、呼吸器内科の専門医として肺がんの早期発見・早期治療やCOPDの対応に力を注ぐ一方、禁煙治療を実践し続けている。06年に禁煙治療が保険適応になってからは、禁煙外来での治療が中心になったが、禁煙相談も継続、岡山大学病院での禁煙外来も担当している。13年からタバコフリー岡山副会長、15年からは岡山県禁煙問題協議会会長も務め、禁煙啓発のイベントに参加するなどして喫煙による健康被害の防止を訴え、肺がん予防に寄与してきた。電話での禁煙相談では当初、家族の喫煙をやめさせたいとの相談も多かった。社会状況の変化もあり喫煙者もタバコを吸いづらい雰囲気が高まってきたためか、禁煙外来受診者も増え、禁煙成功率も6~7割に上昇したという。低線量CTによる肺がん検診の研究にも長年取り組んでおり“精度の高い検診方法を確立し、より受診率向上に貢献できる新たな

システムを作りたい」と意気込んでいる。」

西井先生に改めてお祝い申し上げます。

西井研治先生、対がん協会賞受賞おめでとうございます。

特定非営利活動法人 肺がんCT検診認定機構 総務委員長  
中川 徹

---

## 肺がんCT検診認定機構 講習会および試験日程のご案内

### 第17回 認定技師更新講習会 ※申込み終了

日 時 2018年10月27日(土) 9:30～15:00

会 場 駒澤大学 駒沢キャンパス 種月館(3号館)(東京都)

詳細HP <http://www.ct-kensin-nintei.jp/gishi/koushin/kousyukai/index.html>

### 第21回 肺がんCT検診認定技師定期講習会、認定試験

日 時 2019年2月16日(土)、17日(日)(予定)

会 場 駒澤大学 駒沢キャンパス(東京都)

詳細HP <http://www.ct-kensin-nintei.jp/gishi/workshop/index.html>

### 第18回 認定技師更新講習会

日 時 2019年2月16日(土)(予定)

会 場 駒澤大学 駒沢キャンパス(東京都)

### 第16回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

日 時 2019年3月10日(日)(予定)

会 場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)(大阪府)

### 第17回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

日 時 2019年6月1日(土)(予定)

会 場 TKPガーデンシティ仙台(ホール13B)(宮城県)

### 第18回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

日 時 2019年8月18日(土)(予定)

会 場 一橋講堂(学術総合センター)(東京都)

### 第19回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

日 時 2019年11月16日(土)(予定)

会 場 TKPガーデンシティ PREMIUM 博多駅前(福岡県)

※詳細は、随時肺がんCT検診認定機構HP(<http://www.ct-kensin-nintei.jp/index.html>)、メルマガ等にてお知らせいたします。

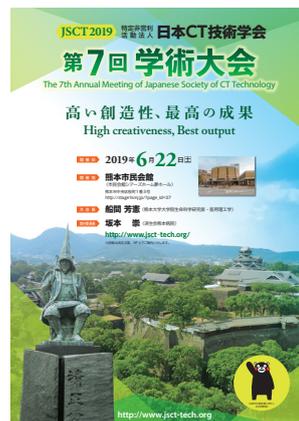
## 第26回日本CT検診学会 学術集会

開催日 2019年2月8日(金)～9日(土)  
開催地 日立シビックセンター  
(〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1)  
会長 名和 健(株式会社日立製作所 日立総合病院)  
テーマ CT検診にかかわるすべての人々のために  
詳細HP <http://www.jscts.org>



## JSCT2019 日本CT技術学会第7回学術大会

開催日 2019年6月22日(土)  
開催地 熊本市民会館(市民会館シアーズホーム夢ホール)  
(〒860-0805 熊本市中央区桜町1-3)  
大会長 船間 芳憲(熊本大学大学院生命科学研究部・医用理工学)  
実行委員長 坂本 崇(済生会熊本病院)



## 日本CT検診学会2019年夏期セミナー

開催日 2019年7月13日(土)  
開催地 一橋大学一橋講堂  
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2  
学術総合センター2階  
詳細HP <http://www.hit-u.ac.jp/hall/accessjp.html>

---

**肺がんCT検診認定機構メールマガジン  
第25号**

2018年10月12日発行

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 6F  
株式会社クバプロ内「NPO法人肺がんCT検診認定機構事務局」

編集責任者 村田喜代史

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：ct-nintei@kuba.jp

WEBSITE：http://www.ct-kensin-nintei.jp/

---